



南大隅町町章

町民と行政のかけはし
南大隅町

みんなの議会



8月20日、ビーチバレー大会とジュニア・アクアスロン大会が開催され、大浜海水浴場は多数の参加者で賑わいました。

6月定例会及び臨時会 (5月)

- 6月定例会の主な議決内容…………… 2～3
- 9議員が一般質問…………… 4～11
- みなさんからの陳情処理状況等…………… 11～12
- 傍聴者から…………… 12

●発行●
南大隅町議会

●編集●
議会だより編集委員会
〒893-2501
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226
電話 0994-24-3111
(内線332番)

第9号

平成19年9月号



この度の集中豪雨及び台風により被災された皆様、謹んでお見舞い申し上げます。
 議会としましては、一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

6月定例会は12日から27日までの16日間の会期で開かれ、平成19年度補正予算や条例改正など議案12件、報告1件、陳情3件、発議2件について審議され、原案どおり可決されました。

6月議会で議決した主な議案内容

平成19年度 補正予算 (6月)

会計区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容
一般会計 (補正第1号)	5,562万2千円	65億 418万0千円	・地域振興施設補助、種子島周辺漁業対策事業補助、町道維持工事など
国保特会 (補正第1号)	1億1,695万2千円	16億8,606万2千円	・後期高齢者医療のシステム改修及び国庫事業等の導入に関するものなど
簡水特会 (補正第1号)	7万8千円	2億8,196万8千円	・公営企業経営健全化計画に基づき、水道料金改定について審議会を開くための報酬
老人保健特会 (補正第1号)	2,817万1千円	21億3,224万4千円	・支払基金交付金・国庫支出金・県支出金の追加交付金及びそれに伴う一般会計繰出金

◎条例・規約関係

- ▼簡易水道料金、農業集落排水処理施設使用料審議会条例の制定について
- ▼過疎地域産業開発促進条例の一部改正について
- ▼さたでいランド条例及び大浜海浜公園条例の一部改正について
- ▼過疎地域自立促進計画の変更について
- ▼辺地総合整備計画の変更について

◎組合規約の変更

- ▼鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について
 (10月1日から施行)
- ▼大隅肝属地区消防組合規約の変更について

◎報告

▼繰越明許費繰越計算書について

◎その他

▼マイクロバス購入契約の締結について
(落札業者は、三菱ふそうトラック・バス株式会社)

◎発議

▼日豪経済連携協定交渉において国内農業に影響を与えないことを求める意見書(案)について

▼地域高規格道路(大隅縦貫道)2期地区の錦江町田代から南大隅町佐多間を候補路線から計画路線への格上げと継続施工に関する意見書(案)について

※以上2件については、政府関係機関へ意見書を提出することに決定しました。

第2回臨時会

第2回臨時会が5月8日に行なわれ、同意1件、専決処分した事件の承認7件を審議し、原案のとおり可決しました。この他、常任委員・議会運営委員の選任を行いました。

◎同意

▼固定資産評価員に前原忠義氏(町税務課長)を選任しました。

◎承認

▼条例の一部を改正する
▼町道の路線廃止及び認定について
▼平成18年度補正について(下表)

平成18年度 補正予算

会計区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容
一般会計 (補正第11号)	▲1,527万0千円	70億9,627万8千円	地方債の決定による限度額の変更及び財源組み換え、補助金確定に伴う執行残額の整理など
国保特会 (補正第5号)	▲727万5千円	15億7,237万2千円	補助金確定に伴う減額、高額療養費の減額など
診療所特会 (補正第1号)	105万2千円	7,172万0千円	辺塚診療所の赤字補填補助金に伴う予算調整
老保特会 (補正第3号)	▲4,710万6千円	20億679万3千円	医療給付費の確定に伴う減額など
介護(保険事業勘定)特会 (補正第5号)	▲2,369万4千円	11億1,342万1千円	介護サービス給付費の減額と保険料剰余金の積み立てなど実績見込みによる予算調整

委員会構成が変わりました

◎委員長 ○副委員長

常任委員会			議会運営委員会
総務委員会	文教厚生委員会	経済建設委員会	◎大久保 孝 司
◎大久保 孝 司	◎牧 勝	◎川 原 拓 郎	○中 村 雅 之
○中 村 雅 之	○持 留 秋 男	○松 元 勇 治	牧 勝
日 高 孝 壽	前 田 信 親	大久保 弘 行	持 留 秋 男
竹之内 勝 男	打 越 道 行	愛 甲 貞 二 郎	川 原 拓 郎
平 瀬 亮 二	平 原 熊 次	新 坂 日 出 男	松 元 勇 治
宇 野 仁 一	大 村 明 雄	枝 迫 勝 太 郎	宇 野 仁 一

一般質問

6月議会では、9議員より一般質問がありました。
その要旨は次のとおりです。



大久保弘行 議員

教育行政について

問① 小規模校の利点と問題点を伺いたい。

答① 利点としては、児童一人一人に目が行き届き、

きめ細かな授業ができること、全校での活動が多く、異年齢での好ましい関係が培われること、学校と地域の結びつきが緊密で地域の活性化にも繋がることなどが挙げられます。問題点については、少人数のため、大人数の場で物怖じしてしまうこと、複式学級のため、担任の指導を受ける時間が少ないこと、競争心を欠くこと、教師が同時に2学年の指導を行うため資料作りに多忙であることなどが大きく挙げられます。現在、小規模校の良さを活かした取り組みに努めているところです。

問② 小学校の統合についての基本的な考えを伺いたい。

答② 児童数の減により、神山小学校以外は複式学級が懸念され、また余儀なくされている状況です。小学校は子どもの学習の場であり、地域の文化活動の拠点でもあります。統合については賛成、反対と分かれる

ところですが、親の考え方や地域住民の考え方が大事であり、両方の意見を十分に聞きながら検討して、判断する必要があると考えます。最後まで小学校の灯は消さないという理念のもとで努力をしていきたいと思えます。

人材育成について

問① 若者の組織活動について、青年団・農業青年クラブへの参加状況を伺いたい。

答① 本町には20歳代が500人程度いますが、青年団に入団しているのは15名です。活動としては『サンタが街にやって来た』『新春カルタ大会』等を行い、また、週1回バドミントンをとおして、団員の意思疎通を図り、団員確保に努めているところとあります。農業青年クラブについては、平成9年度より翔南倶楽部(錦江町、南大隅町の青年農業者)という名称で活動を再

開いています。会員数は24名で、その内本町の加入者が7名います。町としても農業青年クラブ組織等と連携を図り、加入推進に努めていきます。

問② 高齢化社会におけるボランティア養成の取り組みについて伺いたい。

答② 本町は県下一の高齢化率であり、ボランティア活動の核となる地域福祉団体の取り組みは非常に重要であります。会員も高齢化し将来が懸念される場所ですが、ボランティア養成の取組状況については、今までに県の社協を招いて福祉ボランティア養成講座、手話教室などを実施してきました。本年度は精神障害を中心としたボランティア養成講座を計画しているところとあります。今後も団体間の交流や合同研修をより一層充実させて支援して参りたいと思えます。

問② 地域によつては、ボランティアがいなくて地



やすらぎ会(根占地区)による活動

域サロンを立ち上げられないと聞くが、現状を伺いたい。
答② 地域サロンは、根占地区で20箇所、佐多地区で10箇所開設しています。会員数は、両地区で437名で、ボランティアは120名です。120名の年齢構成は20代から50代が23名、60代から80代が97名です。今後、若いボランティアの後継者が自発的に参加できるような取組を行政として構築していきたいと考えています。



牧 勝 議員

旧登尾中学校の管理にCSM

問① 地区公民館、PTA 会員で年2回、旧登尾中学校跡地の清掃作業を実施しているが、何らかの助成はできないか伺いたい。

答① 地区公民館としての活力を中心に、町の活性化を図っていくということが教育委員会並びに行政の考え方であります。今のところ清掃に対する助成という事は考えていませんが、全般的な活動に対する助成をしていますので、そのようにご理解頂きたいと思えます。

問② 活用について対策はないか伺いたい。
答② 小学校への転用計画

をはじめ、いろいろ検討してきましたが、結果的に有効な活用策を見出すことができませんでした。今後の活用策については、校舎の耐震診断、耐力度調査等を実施していませんし、活用するにしても相当な経費が予想されますので、現時点での再利用は考えられない状況です。現状での活用としては、校区のサロンの館的なこと等は利用できるのではと考えますが、地域住民の知恵を出して頂ければ、分野において十分検討、活用していききたいと考えています。



旧登尾中学校校舎

問③ 台風シーズンに備え、災害時の避難場所として活用する考えはないか伺いたい。

答③ 現在、避難所には登尾小学校を指定してありますが、登尾小学校の場合は、トイレが外にあるということを除くと、車の乗り入れ、避難所の居住性など、総体的に見ると、旧登尾中学校より避難所としての機能は高いのではないかと判断しています。今後も登尾小学校を地域の避難所として活用していききたいと考えています。

問① 利用者が少ない現状ではあるが、地区民からは

佐多温泉センター利用者増対策について



持留秋男 議員

是非運営してほしいとの要望も多くあります。利用者増対策等を十分考え、今後も継続してほしいが町長の考えを伺いたい。

答① 合併後、施設に対する利用状況把握のためのアンケート調査を行いました。その結果、確かに存続を望む声もありましたが、毎年、利用者も減少傾向にあり、昨年度においても、約2千2百万円の赤字が計上され、監査委員からも検討するようにとの指摘がありました。今後、想定される維持費等を検討しましたが、廃止はやむを得ない状況と考えています。また、利用増対策としても、老朽化しつつある施設のイメージアップと利用者拡大を図る上では、設備を含む改修も必要になってくると考えられます。これらの状況を踏まえた上で、利用者についてはネット、利用者についてはバス輸送を検討し、温泉センターは、保健センターの佐多サロン館と併せて福祉施設としての活用を図っていききたいと考え

問① 本町の農業は畜産が大であるが、高齢化また多頭化が進む現状の中、関係機関と一体となり、今後の畜産振興のために、キャトルセンターとの取り組みを行う考えはないか伺いたい。

畜産振興対策について

答① 本町の平成18年度の農業生産額は、82億7千万



佐多温泉センター

ています。

円の内、畜産事業は61億3千万円で約75%と大きな基幹産業であります。中でも肉用牛事業は14億円であります。しかしながら高齢化は避けられない状況でもあります。キャトルセンターは、繁殖農家が子牛の分娩から離乳までを管理し、4ヶ月齢から9ヶ月齢の間のセリ市に出すまでを預託する施設です。県内では平成12年以降にJA単独で経営を始めましたが、収支の悪化から6箇所あったものが現在3箇所の経営となっています。これは預ける数とランニングコストとのバランスが悪いことが最大の要因であります。県内施設が理想の経営をしていないことから、当面要望が多くならない以上、計画はないことですが、要望が多くなれば、JA鹿兒島きもつき農協とも協議をしながら、取り組んでいきたいと思っております。



宇野仁一 議員

特産品開発について

問① 付加価値を高め一次産業の地位確立を目指して、農産物、水産物加工による特産品開発プロジェクトチームの設置は考えないか伺いたい。

答① 本町の特性から農産物、海産物は四季折々変化に富み、種類も豊富です。県でも昨年からの食の先進県づくりを掲げており、本町の雄大な自然環境の中での特産品開発は有望ではないかと考えています。既存のグループでも加工品の生産が盛んに行われていますし、十分事業化の可能性を秘めているものもあります。個々に匠の技を持ち合わせており、連携しての取り組みは大きな期待があると考へますので、今後、関係団

体との協議を重ねていきたいと考へます。特にプロジェクトチームの設置は考へていないところでです。

問② 関東・関西地区の郷友会等を活用した販路拡大策は考へられないか伺いたい。

答② 関東・関西の南大隅会には、毎年、南隅物産協会で開催され好評を博しているところとあります。リピーターもあり少なからず販路拡大はなされてきています。町外のふるさと会には、町のパンフレットや特産品の紹介をLP Rに努めているところとあります。今後とも商工会、物産協会と連携を密にし、関東・関西南大隅会にもちろんのこと、延いては関連会社への販路拡大を目指したいと考へます。

問③ 関東・関西・鹿兒島市在住の郷友会等にふるさと寄附金を呼びかけて、特産品開発資金に活用する考へはないか伺いたい。

答③ 商工会での助成制度

や厚生労働省の地域雇用創造推進事業等を活用して、特産品開発をサポートし、こだわりの商品づくりを図りたいと思います。ふるさと寄附金については、十分ひとつ検討してみたいと考へています。

定住人口増促進対策にCS2

問① 宅地造成し、分譲する考へはないか伺いたい。

答① 町有地においては、南大隅高校隣りの高台を検討していますが、雇用状況、動向の分析を踏まえ、関係課、有識者会議等との意見交換を重ね推進したいと思へいます。佐多地区においては、県有地ながら大きな面積を擁しているのは、南大隅高校佐多分校跡地がありますが、現在、県の方で売却予定リストに挙がっており、この土地も選択肢の一つと考へています。今後そのような開発を進めながら、定住人口の誘致を図りたい

と思へいます。

問② 空き家を改修して、住宅として斡旋し、人口増を図る考へはないか伺いたい。

答② 根占地区においては218戸の空き家の内、住居可能は23戸、佐多地区においては265戸の空き家がありますがほとんど住居不能です。財産が入つていたりするもの、持ち主が許可してくれないというのが現状です。対策チームを作り、一戸一戸入念にチェックしていくことが大事かと思へますが、検討したいと思へいます。

老人クラブ活動について

問① 組織率低下の原因をどう考へているか。また、組織率向上対策をどうしているか伺いたい。

答① 組織率低下の原因としては会員数の減、とりわけ組織団体のリーダーとな

る担い手が現れないことが最大の要因です。組織率の向上については、自治会に合ったクラブづくりを目指して頂き、趣味サークルという気軽な気持ちでリーダーを養成して頂ければと考えています。団塊世代の大量退職に伴う仲間入りも、今後、期待するところですので、行政としても社会福祉協議会と一緒に、支援していききたいと考えています。

問② 小学校と高齢者との交流活動推進状況を伺いたい。

答② 平成18年度においては、全ての小学校で高齢者に教えてもらう活動として、昔の遊びや戦争体験、そば打ち体験など、また、グラウンドゴルフでの交流や施設訪問を実施しています。また、老人クラブ等主催の行事にも積極的に参加させ、高齢者との交流活動を進めています。

社協の人生指南アドバイザー活動では、高齢者の

方々が地域や学校に向いたりして子ども達と活動された回数は64回ありました。高齢者の思いを肌で感じ、学び、敬い、また、高齢者に子ども達の元気を分け与えるような活動をより一層推進していききたいと考えています。



竹馬作りや遊び方を習う滑川小学校児童ら

公共工事と町内業者の雇用について

問① 公共工事の縮減により建設業界の経営悪化が懸

念されるが、町長任期中の工事計画を伺いたい。

答① 超緊縮財政の中、公共事業費へもしわ寄せが及んでおり、今後も削減傾向にあります。本町としても総合振興計画を柱とし、各種計画と整合性を図りながら推進していく計画です。合併時180億円の借金が現在120億円位です。残り2年間で借金を減らすことも私の任務かと思えますが、公共事業は町のエネルギーでもあります。広域農道の開発、高規格道路の佐多への計画路線、雄川改修の継続、佐多漁港の改良、伊座敷トンネルなど大きな事業が山積みされています。国や県にもお願いして、国・県の事業を取り入れていきたいと考えています。

問② 町内業者の雇用対策に繋がる事業量の推移をどう見通しているか伺いたい。

答② 公共事業の経済波及効果は直接的には建設需要による資材消費、携わる従

事者の雇用増大が図られ、また、間接的には交通網の整備により物流の迅速・繁栄、基盤整備による企業等の進出を促すなどの効果があります。

公共事業としての町内の事業は、自立促進計画等に基つきこれまで横ばい状態の予算で事業を実施しています。今後も公共事業確保のために、県へも要望していききたいと考えています。



新坂日出男 議員

町道馬籠・松山線の道路改良工事の見通しについて

問① この路線の改良工事終了予定は、いつ頃になるのか伺いたい。

答① 本路線は、県道浜尻・馬籠線を起点に松山ま

での延長2、653mの区間です。平成13年度から平成22年度までの10年間に延長1、312m、事業費4億2千万円の計画で交付金事業により施工してきました。現在のところ、本路線は交通量が少ないこと、本町も財政的に非常に厳しい状況下であること、平成18年度までに東山崎自治会内の改良が完了したことに鑑み、県とも協議し、平成19年度において、平成18年度完了部分から現道への取付工事を交付金事業で施工し、本路線の改良工事について、中断することといたしました。今後、道路改良工事については、本町の財政状況等を十分見極めながら検討していききたいと思えます。

問② 東山崎地内の東山崎自動車工場近くの橋梁架け替えはどのような計画か伺いたい。

答② 東山崎橋は平成20年度から平成21年度までの2年間で延長33m、事業費が1億3千万円で施工する計

画できましたが、橋梁の架け替え工事については中断することといたしました。今後、橋梁の架け替え工事については、本町の財政状況等を見極めながら検討していきたいと思えます。



東山崎橋 (佐多地区)

公共工事量の減少に伴う雇用対策について

問① 建設工事の従事者が工事量減少により、就労の機会がなく混迷している。これに伴う雇用対策はどのように考えているか伺いたい。

佐多岬ロードパーク線の管理について



前田信親 議員

答① 宇野議員の質問でもお答えしましたが、公共事業の経済効果は多岐にわたっており、特に就労機会の減少した工事従事者への影響は大きいものがあります。現状での事業量増は見込めず、横ばいか微減を想定しています。現在、雇用対策として企業誘致・拡大を模索していますが、地理的ハンデが大きく困難をきたしているところであります。また、現在、地域雇用創造推進事業への取り組みをしており、農林水産業関連の起業、雇用増を目指しており、延いては1.5次産業の振興へと展開が図れればと願うところです。



佐多岬ロードパーク線のトンネル

問① トンネル内の中央部付近に雨漏りが発生するがこれの補修・改善策について伺いたい。

答① 大泊方向から約35m付近が、少々雨水の浸透が確認されますが、特に危険性を感じるような状況ではありませんでした。大雨時に雨水の浸透がひどくなるかと思われまますので、専門家等に調査を依頼して意見

を聞いてみたいと思えます。大きな事故に繋がらないように十分検討していきたいと考えています。

問② トンネル内の車の離合困難を解除するために、信号機等による交通整理は考えられないか伺いたい。

答③ 鹿屋・吾平・佐多線から第2ゲートまでの町道部分に40キロ制限、駐車禁止、追い越し禁止等の標識や、路面標示等が約65箇所設置してありますが、長年経過しているため不備なものもあるようです。規制標識については、錦江警察署と協議し、警戒標識については道路管理者である町で検討し、今回6月補正に路線、中央線、路面補修の工事費を計上しているところ、議決頂ければ、路面表示等については早急に対応をしたいと思えます。この路線の完備には、相当な予算が必要と思われるので、関係機関と十分協議しながら、年次的に検討していきたいと思えます。

答② トンネルは延長150m、幅員4mで車の離合が困難な状況です。そのため工事用の信号機も検討し、錦江警察署とも協議してき

ましたが、道路交通法による信号機としては認められないとのことでしたので、事故防止のため、大泊・田尻方向から『幅員狭小』『ライト点灯』『徐行』『対向注意』の標識を設置したところです。昭和39年から共用が開始され既に43年が経過し、今までトンネル内での事故等の発生は無いとのことですが、町道として交通安全対策を講じていかなければならないと考えています。

問③ 交通規制標識、案内告知板等の標識が損傷或い

は不足しているように思うが、更に追加充実する考えはないか伺いたい。

も設置したところですが、今後、設置が必要な箇所がないかを関係課とも協議していきたいと思えます。

問④ 路側帯、道路敷外に植えてある樹木・花等の今後の管理と促進について伺いたい。

答④ 第1ゲートから第2ゲートまでの間には、ピロウ、紫陽花、つつじ、ハイビスカス、アコウ等たくさん南国情緒あふれる樹木や花等が植栽されています。この路線は観光道路でもあります、その維持管理には十分な配慮と相当な経費が必要と思われまます。県に移管するまでは、町での管理と思われまますので、6月補正において除草等の経費を計上し、議決頂ければ早急な対応をしていきたいと思えます。この路線は、5年以内を目途に県に移管することで協議を進めていますが、道路敷内外の区別の決定がなされていないのが実情です。今後、県と協議を重ね、維持管理区域の決定を行いたいと思えます。

問⑤ 県道への移管時期は、今後どのように図られていくのか伺いたい。

答⑤ 県道佐多岬公園線を町道に、町道佐多岬ロードパーク線を県道に移管していくことで県との協議を進めていますが、県道佐多岬公園線畔付近の未改修部分の改修、町道佐多岬ロードパーク線の道路敷地と植樹帯との境界の決定等の問題点について更に県と協議を重ね、決定しだい5年以内を目途に県への移管をしていきたいと考えています。

通したが、今後どのように活用されるか伺いたい。

答① 佐多岬までの観光道路として、これまで以上に南国情緒溢れる道路として維持管理すると共に、舗装の道路改良工事も実施し、佐多岬を訪れる観光客の安全で快適な道路として整備していく予定です。また、この道路を活用した佐多岬マラソンも引き続き実施し、岬観光のPR、誘客を積極的に図っていきたく考えています。

佐多岬ロードパーク線より

県道佐多岬公園線の方が距離的に短く、時間的にも早いということ、利用し易い道路であるとの事です。しかし、県道佐多岬公園線の畔付近が幅員が狭いため離合が非常に困難な区間があり、県に要望していますが、改修の目途が立っていないという現状です。5年以内を目途に町道に移管するよう県と協議しているところです。

問③ 海中展望船サタデイ号の利用客アップのため料金改定は考えられないか伺いたい。

答③ サタデイ号の運営については、指定管理者制度を導入していますので、乗船料金は、指定管理者が条例の範囲内で設定できます。既に利用浮揚策として、15名以上の団体や指定管理者制度を導入している関連施設利用者には1割引するなどを実施しています。指定管理者側の権限ですので、要望であれば申し伝えたいと思えます。



日高孝壽 議員

佐多岬観光の今後のビジョンについて

問① 4月26日付けで町道佐多岬ロードパーク線が開

職員の研修について

問① 現在、職員の研修はどのようにされているか伺いたい。

答① 県市町村研修協会が階層ごとに実施する一般研修と、専門的知識を学ぶ特別研修があり、特に、新任の係長や課長補佐、課長などを段階的に参加させていきます。また、独自の研修で



サタデイ号

は、昨年度は職員全員を対象とした行財政事務研修会を実施し、本年度は電算文書管理システムについて研修を実施し、8月には法制執行事務の研修を計画しています。

行政改革について

問① 合併3年目を迎え、行政改革ほどの程度進んでいるか伺いたい。

答① 行政改革については、項目的には行政改革大綱で示しています事務事業の見直し、組織体制の整備、行政評価制度の導入などを検討しながら進めています。具体的には、職員部会で検討を重ね、課長で構成する行政改革本部会で方向を定め、行政改革推進委員会に諮問し、意見を聴きながら進めてきています。



川原拓郎 議員

行財政改革について

問① 行財政改革推進室を設置し、専門職員を配置し進める考えはないか伺いたい。

答① 推進室を設置する方向では、今のところ考えていませんが、専門職員の配置については、県に職員を派遣して頂けないかお願いしているところです。

農業後継者対策について

問① 本町の農業を背負って立つ若者に、後継者専用の町営住宅を建築して居住して頂く考えはないか伺いたい。

答① 後継者対策としては、厳しい農業情勢を乗り切る

ための措置として、現在、若い農業者入植事業の中で、就農を軌道に乗せるための奨励金、及び、補助事業導入に伴い補助残融資を受けた場合は、資金援助などの支援を行なっているところですが、住宅建設については、現段階では考えていないところです。



後継者として地元農業を支える若者



枝迫勝太郎 議員

公共事業について

問① 入札制度はどのように施行しているか伺いたい。

答① 主に一般競争入札と指名競争入札を実施しています。町内の土木業者19社を県に準じてA・B・C・Dの4段階に格付けし、設計金額に基づいて、指名委員会での選定を行っています。土木工事の大部分を指名競争入札により実施していますが、災害復旧工事や、水道・舗装・、建築工事等については、格付けを設けていませんので、その都度、指名委員会での選定を行っているところです。

問① ② ほとんど指名競争入札であるが、一般競争入札をどのようにされているか。また、設計額の公表をされていないが今後の方向性を伺いたい。

答① ② 地元業者の育成という面からみると、一般競争入札を考慮しなければいけないと考えています。設計額、予定価格の公表に

については、落札価格の高止まり等が懸念されることから、公表していない状況です。このことについては一長一短ありますので、今後、引き続き研究していきたいと思えます。

問② 疲弊したこの町に積極的な公共事業の導入が必要と思うがどのように考えるか伺いたい。

答② 本町も財政的に厳しく、公債費負担適正化計画を作成し、財政健全化に取り組んでいます。この計画は、国・県との協議でもあり、事業抑制は避けられないものです。よって、当面は現状維持での推進を図る所存です。国・県単独事業の導入を最大の目標として取り組みたいと思います。

町営・公営住宅について

問① 古い住宅への対応をどのように考えているか伺いたい。

答① 古い住宅は、使用料も低減であり、それなりに需要も多い状況です。建物の安全性を考慮して、必要な維持補修を行い、古くても快適な形を提供していきたいと考えています。

問② 長屋式住宅の入居者による増築部分をどのように考えるか。また、町として統一的な増築は考えられないか伺いたい。

答② 増築部分については、景観や強度的に望ましくありませんが、入居者の家族構成等を勘案して、申請により承認しています。また、退去時には原状回復を前提としています。なお、町で統一的な増築部分の設置ということは考えていません。

問③ 古い住宅のリフォーム計画、特に浴槽を伺いたい。

答③ 古い住宅の浴槽が、新しい住宅と比較して小さく目が高齢者には扱いにくい

という認識はしています。全面的な改修ではなくて、維持補修という事を基本的に、現状を確認して、入居者の希望に添えるよう努力していきたいと思えます。

国民年金について

問① 昭和36年以後の年金納付台帳は保存されているか伺いたい。

答① 台帳は、現存しています。現在、問題になっている年金記録について活用できるものなら、社会保険事務所への情報提供も考えています。

小学校統合について

問① 小学校統合をどのように考えているか伺いたい。

答① 小学校は子供の学習の場であると共に、地域の文化活動の拠点であります。そのような観点から統合については、保護者や地域の

方々との十分な話し合いのもとで、十分検討していかなければいけない。校区の灯を絶やさない為にも、一人になるまで学校を休校させない、廃校させない、統合しない方向で考えています。

問①(2) 入学式や卒業式もなく、また同級生もいない学校をどう思うか伺いたい。

答①(2) 確かに寂しい思いがいたしますが、子供は地域の宝物であり、郷土愛、母校愛にも繋がっていく問題でもあります。行政として、こうした事態回避の努力を惜しまない考えています。

会議の内容については、閲覧もできます。

みなさんからの陳情処理状況

日豪EPA/FTA交渉に関する陳情書について

（食とみどり・水を守る鹿児島県民の会）
※経済建設委員会付託

【要旨】日豪EPA/FTA交渉にあたっては、米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの農林水産物の重要品目を除外するとともに、これが受け入れられない場合は、交渉を中断すること、また、農産物貿易交渉は、農業・農村の多目的機能の発揮と国内需給による食糧安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールの確保を求める

ものです。

【審査結果】 採択

町道発電所線落石対策についての陳情書について

（北川内自治会長・南川内自治会長）
※経済建設委員会付託

【要旨】落石が度々発生し、また、岩盤が町道に覆いかぶさり、現在も非常に危険な状態です。このまま放置すると大規模な崩落が生じ、通行車両や人命に多大な被害を及ぼす恐れがあります。地元住民の不安を解消するために早急に落石・崩壊対策等何らかの処置を願うものです。

【審査結果】 採択

地域高規格道路（大隅縦貫道）2期地区の錦江町田代から南大隅町佐多間を候補路線から計画路線への上格上げと継続施工についての陳情書について

(自治会長連絡協議会

会長 他2名)

※経済建設委員会付託

【要旨】当路線は本町佐多

への重要な幹線道路であり、国道269号線の災害途絶の緊急避難道路、あるいは広域農道の一部を兼ねる農業緊急支援助道であります。急カーブで視距が非常に悪く、地域住民は常に危険を感じており、早急な改良が望まれるもので、現在整備中の大竹野工区に継続して施工されることを願うものです。

【審査結果】 採択

議員の派遣について

▼市町村政研修会

(鹿児島市 8月2日)

閉会中の継続審査並びに調査申し出

▼総務委員会

(定住人口促進対策等調査)

▼文教厚生委員会

(小規模小学校等調査)

▼経済建設委員会

(畜産政策等調査)

▼議会運営委員会

(時期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項について)

委員会の調査報告

▼南大隅高校存続問題調査特別委員会

当委員会は、南大隅高校が高校再編計画の対象校になっている現状に鑑み、平成17年6月議会において設置されました。これまでに南大隅町奨学資金貸付基金条例制度及び南大隅高等学校奨学奨励金制度を設け、存続問題に取り組んで参りました。

議会としても関係各機関、団体等と協力して学級減、再編阻止のため努力する所存です。以上の報告をもつて、南大隅高校存続問題調査特別委員会を終了します。

傍聴者席から



民生委員・児童委員

上之園須美子さん

私たち佐多支所民児協では、六月定例議会を傍聴させて頂きました。質問者、答弁者のやりとりが熱気を感じながら聞き入っていました。話の内容も良く理解できました。高齢化・少子化、その他のいろいろ山積された問題等出されましたが、厳しい財源の中、解決策には至らないようでしたが、中でも南大隅町一番の観光地佐多岬の道路整備が質問され、答弁された町長さんも、何とかしなくてはと考えていらした。もう一度、佐多岬に観光客を呼び戻して欲しいと願っているのは私だけでなく、町民み

んなの想いだと思っています。本当に、私にも『ひとこと』と言いたくなりました。私たち弱者は議員の方々だけが頼りなのです。安心で住みやすい町づくり頑張ってください。

議会傍聴の機会を得られた事を嬉しく思い、又、良い勉強をさせて頂きました。



民生委員・児童委員

瀬戸山春子さん

昨年より、年に1回議会傍聴をさせて頂いています。今年度も6月議会を傍聴させて頂きました。午後からでしたので、3名の質問を傍聴することができました。道路の関係、特産品の関係等が一問一答方式で行われました。本町には、たくさんの特産品がありますが、生産・加工・販売まで地元でできれば、町の活性化にも繋がると思います。今後

議会を傍聴してみませんか!

議会は、年に4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と必要に応じて開かれる臨時議会があります。

傍聴にはお気軽にお越しください。日程等詳しい事は、議会事務局(TEL 24-3111)までお問い合わせください。

も検討して頂きたいです。高齢化が進んでいる今、町民は将来のことが非常に不安です。7月の大雨と台風4号でたくさんの方が被災されました。危険を目的の当たり前にして恐怖と不安でいっぱいだったと思います。財政の厳しい中、大変だと思いますが、安心して暮らせる町づくりを目指して頑張ってください。また、私達町民も町政に無関心ではいけません。是非、議会傍聴をしてみたいかがでしょうか。